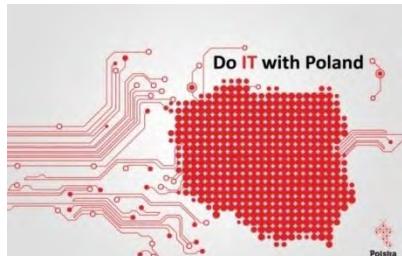




Do IT with Poland - IT 部門はポーランド経済の原動力になる



IT 部門はポーランド経済の原動力になる世界経済フォーラムが発行された 2012-2013年の「国際競争力報告」によると、ポーランドは従来の生産システムを基盤とする経済からイノベーションを基盤とする経済に移行する、21ヶ国グループの中にはあります。ポーランド人は近年、国家の専門分野になっている IT 部門の発達に専念しています。「Do IT with Poland」国際キャンペーンの目的はポーランドの知的・投資可能性やポーランドの IT 部門の中で一番有力なブランドを世界中に紹介することです。

経済学者によると、ポーランドは1989年に始まった政治変動と経済変動の第三発展段階に入ったと述べています。90年代の時ポーランドのダイナミックな成長の原動力は基本的な市場志向の経済改革（経済的自由・世界への門戸開放・貨幣価格の安定化）であり、その10年後 EU に加盟したおかげで大きな支援を頂きました。現在、国際新技術の市場への積極的な参加のおかげで、ポーランドの国内総生産の増加を維持するチャンスがあります。

ポーランド経済の近年の世界経済危機に対する耐久性は高かったけれども、将来の発展を維持する途中で中所得の罠 の挑戦を回避しなければなりません。中所得の罠というのは、先進国の国内総生産の60%に達すると、国内総生産の増加が停滞するということです。発展途上国の場合、先進国の技術と組織の解決策のコピーをすることにより、急激な国内総生産の増加が可能です。しかし、国内総生産が一年に数千ドル以上の水準を超えた瞬間に、給料の増加や発展途上国に職場を移すことや設備投資の飽和状態や生産力を上昇させる技術の輸入費の増加により、この「模倣」モデルは役に立たなくなります。

近年、増加率の高い IT 部門の企業家は新技術革新が必要なポーランド経済のために積極的に行動しています。1996年から2008年の間、ポーランドの ICT 輸出率が毎年28%増加し、家電製品、ソフトウェア、ビデオゲーム、モバイルソリューションなどの製造することがポーランドの専門になりました。ポーランドの ICT 部門の雇用率はヨーロッパ中で第5位となります（ヨーロッパの IT 市場の5.1%に達します）。そして、ソフトウェアを開発している研究所やスタートアップを設置している地方として人気があります。2010年のポーランド IT 部門の販売の純利益は2007年と比べると26%増加し、1130億5000万ズロチになりました。ICT 部門の製造利益が48%を増加しました。研究や発展への費用はその間、3倍以上増加し、7億5860万ズロチを越えました。

この目を見張るような経済成長のチャンスは、ポーランド政府に無視されませんでした。2011年に設置された総務省の目標は情報化社会の発展のための政策を立てることです。ポーランドのドナルド・トウスク首相は EU の新しい予算の25億ユーロを使用してポーランドに「デジタル化」を促進させることを目標にしています。その目標を達するためにワルシャワにて開催された国際中東ヨーロッパ競争力会議の時に総務大臣が「デジタル・ポーランド・プログラム」の開始を発表しました。

現在、ポーランド人は他のヨーロッパ諸国の人々よりも頻繁にソーシャル・ネットワーキングを使っており、企業家の中で電子政府のサービスの使用率はヨーロッパの平均値を上回っています。フェイスブックというソーシャル・ネットワーキング・サービスを開設したマーク・ザッカーバーグ氏がワルシャワに訪問した際に、ポーランドの総務大臣にこのように話しました。「ポーランドは弊社にとってこのヨーロッパ地域の中で一番大事な国であり、フェイスブックでプログラマーに採用される人数の中で、ポーランド人は第二番目に多いグループです」。



ポーランド人は優秀なプログラマーを多く有する民族です。毎年 ICT 部門の市場に卒業生数が 1 万 5 0 0 0 人ぐらい増加し、IT/ICT 部門のキャリアは安定且つ給料が高い仕事です。調査によると、2020 年までに EU 加盟国の中で、ポーランドとドイツ両国のみプログラマー数がしだいに増加することです。ポーランド人の大学生は国際プログラミングコンテストで個人戦とチーム戦でよく優勝しています。彼らは TopCoder、Microsoft Imagine Cup、Google Code Jam、Intel Challenge などの一流コンテストに受賞しています。

ポーランド政府の長年の努力のおかげでポーランドは今年ハノーファーに開催される世界最大級の情報技術 CeBit 見本市の相手国として選ばれました。この展覧会を開いた、ドイツのアンゲラ・メルケル首相がポーランドの順調な発展を通じて、新しい職場と新しい就職の可能性を紹介する機会を作った企画者に感謝しました。メルケル首相と同席した、ポーランドのドナルド・トウスク首相は、「ポーランドがこの展覧会に参加したおかげで間違いなくポーランド人にとってだけではなく、外国のパートナーにも大きなチャンスが生まれました。ポーランドの IT 市場のオファーをもっと詳しく知るチャンスです。ポーランドの IT 部門は未だヨーロッパと世界に発見されていなかった宝物と言えるでしょう」と述べました。そして、トウスク首相によるとこの宝物を最初に発見した投資家や受信者やプロバイダーやビジネスのパートナなどが一番大きな利益を獲得できるはずとのことです。トウスク首相は、「私達のパートナである皆さんからの、このような反響を心から望んでいます」と述べました。

外国市場への参入を目指す、ポーランドの IT 会社は去年 4 月経済産業省が製作した「Do IT with Poland」という IT/ICT 部門プロモーション・プログラムを IT 会社のパートナーとして設置しました。参加者の予定表には世界中でポーランドの IT/IC 部門をプロモーションしているイベントが沢山あります。このプログラムに参加している会社は、最初に 2012 年 10 月にリオ・デ・ジャネイロ にて開催された Futurecom という南米最大級の IT 展覧会で、自己 PR をしました。次に、2013 年 2 月のバルセロナの Mobile World Congress 展覧会と 2013 年 3 月のハノーファーの CeBit 展覧会も訪問しました。最近はオスロ、ワシントン、ニューヨーク、バルセロナ、ハノーファー等にも経済ミッションを送信、現地の情報企業に精通した専門家との相談、新しいビジネス関係の構築、パートナーとなりうる人々と会議に参加する等していました。参加者は 2013 年 4 月ポーランドのウッチ市にて開催された Intertelecom 展覧会へ参加し、5 月上旬に経済ミッションとともに東京の Japan IT Week を訪問しました。このプログラムは欧州地域開発基金の中に設置した革新的経済プログラム (Innovative Economy Programme) の強調融資を引き受けています。

このプログラムを実施する M Promotion 会社のミハウ・ソバンスキ社長が次のように述べました。

「ポーランドの IT 会社は外国市場で大胆に競争できる製品とサービスを持っているが、外国の経済ミッションの参加費は数万ズロチ（50 万円以上ぐらい）を越えます。CeBit や Mobile World Congress の展覧会に代表者二名の滞在費用は 70 万ズロチから 110 万ズロチ（200 万円から 330 万円まで）までかかります。このような PR 活動の費用の 75 % を切り詰めた場合、IT/ICT 部門に属する多くの会社は外国で活動をするようになると思います。」

プログラム詳細はこちらの URL をご覧ください www.poland-it.pl

日付: 2013 年 5 月 28 日

著者: Agencja M Promotion

Plac Hallera 5/12A

03-464 ワルシャワ

tel. +48 22 818 00 23

jakub.smela@mpromotion.com.pl

